

## ESG経営の推進

イオンモールグループはサステナビリティに対する社会要請が高まる中、成長戦略にESGを明確に位置付け経済的・社会的価値の最大化を追求しています。組織体制の強化や新しい評価・表彰制度などを通じ、社内の意識向上を図ることでESG経営を加速させています。

2021年には、ESG視点に基づく経営を通じて社会的・経済的な価値を創出し、地域社会とともに成長することをめざして、組織改革を実施しました。マテリアリティのKPI達成に向けて全社で取り組みを加速させる役割を担うESG推進グループを発足したほか、これまで社会貢献や環境活動などを提案・報告する場として機能していたCSR会議は、CSRを含めたESGの課題を解決するESG推進委員会とESG推進分科会に進化させました。組織体制を強化するとともに従業員一人ひとりの意識を高めるため、年間の個人目標にESGの要素を含めるなど、マテリアリティの社内への浸透を図っています。

当社のブランドステートメント「ハートフル・サステナブル」の概念は、「Life Design Developer」の経営理念のもと、持続可能な社会の実現に向けて、企業市民として地域・社会の発展と活性化に貢献するイオンモールの企業活動そのものであり、ハートフル・サステナブルは、ESGやSDGsという言葉が社会に周知される前から、イオンモールが力を入れてきた理念と行動を具現化した言葉です。今後も当社はESG経営の推進によって、持続的成長と中長期的な企業価値創造を実現するとともに、商業施設という枠組みを超え、地域の抱える課題にソリューションを提供する「ソリューションカンパニー」を目指します。

当社は、イオングループにおけるサステナビリティ基本方針に則り、ESG経営を推進しています。また、「イオンサステナビリティ基本方針」に基づき、「イオンモール株式会社 環境方針」を作成しています。

### イオンサステナビリティ基本方針

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、「持続可能な社会の実現」と「グループの成長」の両立を目指します。取り組みにあたっては、「環境」「社会」の両側面で、グローバルに考え、それぞれの地域に根ざした活動を、多くのステークホルダーの皆さまとともに積極的に推進してまいります。

## イオンモール 環境方針

イオンモールは、資源エネルギーを有効に活用し、サービスの質を高めながらも、環境への影響を最小にするモールづくりを通じて、持続可能な社会の実現をめざします。そのため、環境方針を以下のとおり定め、あわせて、多くのお客さまとのコミュニケーションと地域貢献の履行に努めてまいります。

1. イオンモールは、気候変動の緩和及び気候変動への適応に貢献します。
2. イオンモールは、地球資源を保全し、循環型社会の構築をめざすため、ゼロエミッションモールを実現します。
3. イオンモールは、生物多様性及び生態系の保護を推進します。
4. イオンモールは、お客さまをはじめとするパートナーさまの生活環境の向上と、地域社会の発展と環境保全に貢献します。
5. イオンモールは、環境法規制や当社が受け入れを決めた要求事項を順守します。
6. イオンモールは、環境マネジメントシステムを構築し、事業部門ごとに目的・目標を制定し汚染を予防する体制を築き、環境パフォーマンスを向上するための継続的な改善を推進します。
7. イオンモールは、従業員全員で環境意識を高め、お客さま・パートナーさまと取組みの輪を広げていきます。
8. この方針を当社従業員及びともに働く従業員に周知するとともに、当社の環境情報を公開いたします。

## ESG経営の推進

### マテリアリティ分析のプロセス

#### Step 1

#### テーマの特定

マテリアリティ分析の実施にあたり、DJSI<sup>\*1</sup>やFTSE<sup>\*2</sup>のような評価項目、GRI、同業他社の重要課題などを参考に検討すべき社会課題を洗い出しました。イオンモールグループは、国内外で事業を展開していることから、SDGsと日本特有の社会課題を考慮し、テーマを34項目に整理しました。

※1 DJSI:

米国のS&P Dow Jones Indices社とスイスのRobecoSAM社が共同で選んだサステナビリティ株式指標。

※2 FTSE:

英国ロンドンに拠点を置き、株価指数の算出・管理をおこなっている。

#### Step 2

#### ステークホルダーにとっての重要度

SASB<sup>\*</sup>などの各種ガイドラインやESG評価機関の評価項目を活用し、ステークホルダーにとっての重要度を評価しました。

※ SASB:

米国サステナビリティ会計基準審議会

#### Step 3

#### 自社にとっての重要度

自社にとっての重要度を把握するため、経営理念や中期経営計画を活用し整理しました。

#### Step 4

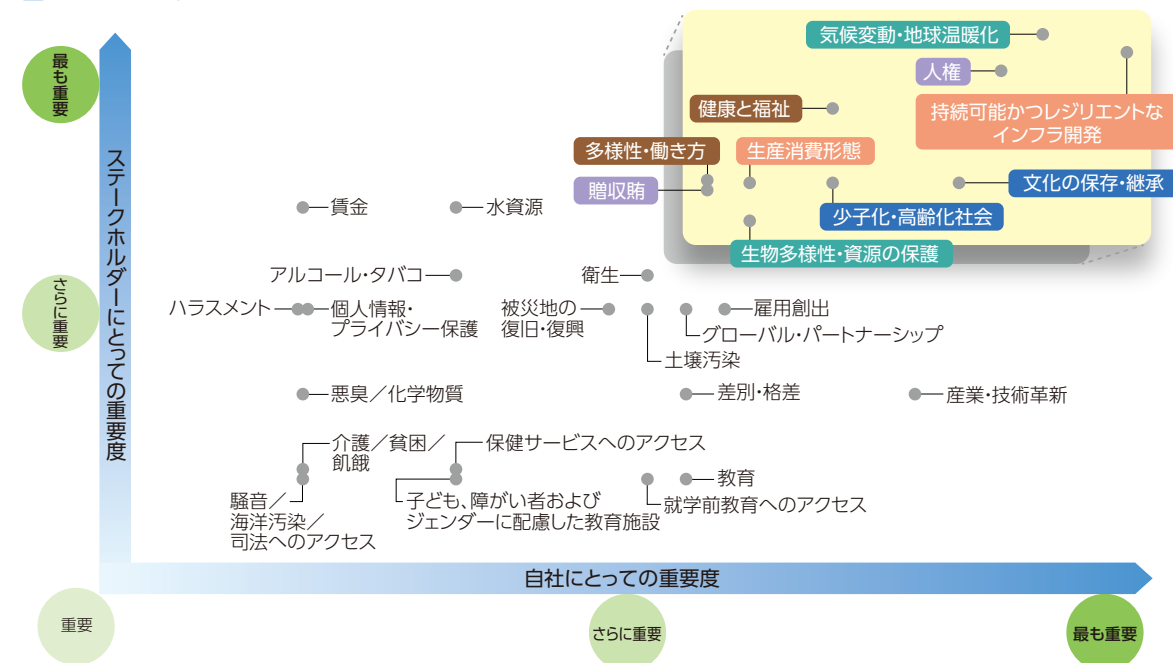
#### 妥当性の確認

イオンモールグループの事業の特性を考慮し、社外取締役が独立した立場から妥当性（マテリアリティ分析プロセスおよび結果）を検討しました。その意見を踏まえ、グループ全体のマテリアリティを修正し、イオンモールCSR会議（現：ESG推進委員会）で承認しました。

### マテリアリティの特定

当社は、SDGsと日本特有の社会課題を考慮したマテリアリティ分析を実施、ステークホルダーおよび自社にとっての重要度を評価し、重要なマテリアリティを5分野10項目に整理しました。

#### ■マテリアリティ・マトリックス



## ESG経営の推進

## 社会課題を解決するイオンモールの指針

	重要課題(マテリアリティ)	2030年にめざす姿(KPI)	2050年にめざす姿(KGI)
地域・ 社会インフラ 開発 	持続可能かつ レジリエントな インフラ開発	①BCP体制の強化策としての 国内全モール防災拠点化 ②地方自治体との防災協定締結割合	地域の方が常に安全・安心を 感じることのできる社会
	生産消費形態	①エシカル消費の推進 グリーン購入率 ②脱プラスチックの取り組み推進	適切な生産消費により 地球環境への影響が 限りなくゼロに近い社会
地域とのつながり 	文化の保存・継承	伝統・文化イベントの積極的開催と 海外含む他地域への展開	文化継承のプラットフォームが 構築されている社会
	少子化・ 高齢化社会	①子ども向けサービスの充実 ②認知症サポーター数	キッズ、シニア含む すべての人が快適に暮らせる社会
環境 	気候変動・ 地球温暖化	①EV充電器設置の拡大 EV充電器設置台数 ②再生可能エネルギー創出による 年間CO <sub>2</sub> 排出量総量35%削減 ③地域住民、専門店向け環境啓発取り組みの強化 ④eco検定の取得率100%	①脱炭素が達成された社会 ②地域全体で 環境配慮に取り組む社会
	生物多様性・ 資源の保護	①ABINC認証(いきもの共生事業所)の 取得モール数 ②リサイクル率70%の達成 ※サーマルリサイクル除く	環境に配慮し 自然と調和した社会
ダイバーシティ・ 働き方改革 	健康と福祉	健康的なライフスタイルの提案	すべての方が心身ともに 健康でいられる社会
	多様性・働き方	①女性管理職比率 ②男性育児休暇取得率100% ③グローバルで活躍する人材育成の推進	人種、国籍、年齢、性別、 場所にかかわらずすべての人に 均等な機会が与えられている社会
責任ある ビジネスの推進 	人権	①人権デュー・ディリジェンスの プロセスの設定・導入 ②人権教育研修100%受講	すべての人に対して 人権が尊重されている社会
	贈収賄	①贈賄防止基本規則の遵守に向けた 贈賄教育・啓発の実施 ②就業規則内、収賄防止条項の継続的遵守 ③贈賄防止基本規則の 遵守体制の継続的な見直しと 贈賄防止基本規則の遵守状況の 年1回以上の代表取締役社長への 報告および是正の徹底	インシデント発生件数0件

## 外部機関による認証・評価

私たちは、「人と環境に配慮したモールづくり」をめざし、ハード/ソフトの両面から先進的な取り組みを導入してまいりました。本年度も、国内・海外の各機関から高い評価をいただいています。

## ESG評価機関からの認証・評価

## CDPでスコアA-を取得

国際的な環境調査と情報開示をおこなう非営利団体CDP\*において、気候変動への戦略および対応が評価され、「A-」評価を取得しました。企業は「A」から「D-」の8段階のスコアで評価、公表され、評価結果は機関投資家による投資判断などに活用されています。  
\*CDPに関する詳細は、CDPの国内Webサイト(<https://japan.cdp.net/>)をご参照ください。



## CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」最高評価の「リーダー・ボード」に認定

国際的な環境調査と情報開示をおこなう非営利団体CDPによる「サプライヤー・エンゲージメント評価」の分野において、当社は最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」に2年連続で認定されました。



## その他の外部評価

## 健康経営優良法人2022(大規模法人部門)に認定

2022年3月に、経済産業省と日本健康会議の主催で特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定されました。



## 外部認証

## 日本企業として初めて「EV100」に参加

2017年に日本企業として初めてEV100\*へ参加。走行時にCO<sub>2</sub>を排出しない電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド車(PHV)の普及推進のため、EV充電器を積極的に設置しています。  
\*EV100:企業による電気自動車の使用や環境整備促進をめざす国際的なビジネスイニシアチブ。



## 「WELL Health-Safety Rating」を新たに取得

2021年度にオープンしたイオンモール新利府(宮城県)、イオンモール川口(埼玉県)およびイオンモール白山(石川県)は、建物をウェルネスの観点から評価するグローバル認証「WELL Health-Safety Rating(WELL健康安全性評価)」を取得しました。



## 2022年GRESBリアルエステイト評価で、「4スター」評価を取得

2022年GRESBリアルエステイト評価において、5段階で格付けされるGRESBレーティングで「4スター」を取得。また、ESG推進を評価する「マネジメント・コンポーネント」と保有物件での環境パフォーマンスなどを評価する「パフォーマンス・コンポーネント」で「グリーンスター」の評価を8年連続で獲得しました。



## ESG投資のための株価指数構成銘柄に選定

財務情報のみならず、環境・社会・ガバナンスへの取り組み(非財務情報)で企業の価値を測り投資判断の材料とする「ESG投資」。当社はESG評価に優れた企業を選別して算出する各種指数の3つの構成銘柄に選定されています。



## 計7モールが「DBJ Green Building認証」を取得

株式会社日本政策投資銀行(DBJ)が主催する、対象物件の環境性能などを含めた総合評価システムに基づき認証する「DBJ Green Building認証」で、2021年度に、6モールが4つ星、1モールが最高位の5つ星を獲得しました。



## ABINC認証(いきもの共生事業所®認証)を取得

いきもの共生事業所®推進ガイドラインに基づき、生物多様性に配慮した緑地づくり等の取り組みを第三者的に評価・認証するABINC認証。2022年2月末現在、計15モールで認証を取得しています。



## 外部機関による認証・評価

### 外部からの表彰

#### ショッピングセンター運営優秀実践事例として受賞

2021年7月、中国チェーンストア経営協会(CCFA)主催の「中国ショッピングセンター・チェーンブランド発展サミットおよび展覧会2021」において、イオンモール武漢金銀潭(中国)が「2021 CCFA金百合賞 ショッピングセンター運営優秀実践事例」を受賞しました。当モールは2020年7月に増床リニューアルを実施し、4階の立体駐車場の店舗化や約15,000m<sup>2</sup>におよぶエリア最大級のレストラン街の新設、既存エリアの改善をおこなったほか、コロナ禍による武漢市の封鎖解除後には専門店の開業準備を迅速に支援。結果、4階レストラン街の開業率は同年7月31日に90%、年内100%を達成した点などを評価いただきました。



#### 「99 Giving Day」愛心支持賞を受賞

イオンモール中国は、2021年10月に同国最大級の公益イベント「99 Giving Day」において、民間公益組織の壹基金(One Foundation)より「2021年99公益日愛心支持賞」を受賞しました。壹基金およびイオングループ中国本社と連携し、同国内22モールで1元以上を寄付いただいたお客さまにノベルティをプレゼントする活動では計19,800名に支援いただいたほか、館内ポスターやLEDスクリーンで公益活動への参加を呼びかけるなど、継続的な取り組みを高く評価いただきました。



#### 「トップ5オフィス&ショッピングセンター2020」を受賞

2021年3月、イオンモール ハドン(ベトナム)が「トップ5オフィス&ショッピングセンター2020」を受賞。経済・建設・不動産の分野におけるジャーナリストや経済界のトップ会員50万名による投票プログラムにより選定されたもので、地域最大規模のショッピングモールであるとともに、自然環境との共生を意識したライフスタイルを提案している点やユニバーサルデザインガイドラインに則った高い利便性を評価いただきました。



#### 「App Ape Award 2020」アプリ・オブ・ザ・イヤー優秀賞を受賞

2021年2月、「イオンモールアプリ」がスマホアプリ分析プラットフォーム「App Ape(アップ・エイプ)」を手がけるフラー株式会社主催の「App Ape Award 2020」において、本質的な成長を遂げたアプリとしてアプリ・オブ・ザ・イヤー優秀賞に選ばれました。イオンモールアプリは2020年6月に全面リニューアルし、登録したお気に入りショップからの情報配信、自宅からモールまでの経路や館内でのルート案などの機能を導入。いっそう充実したコンテンツで利便性や使いやすさを高めています。



## 外部機関による認証・評価

### 外部からの表彰

#### 「おおさかストップ温暖化賞」優秀賞を4度目の受賞

大阪府環境農林水産部が主催する「おおさかストップ温暖化賞」は、事業活動において排出される温室効果ガスや人工排熱の抑制など、模範となる特に優れた取り組みをおこなった大阪府内に事業所を持つ事業者を表彰するものです。当社が管理・運営する、イオンモール堺北花田、イオンモールりんくう泉南、イオンモール鶴見緑地、イオンモール四條畷、イオンモール堺鉄砲町、イオン藤井寺ショッピングセンターは、CO<sub>2</sub>フリー電力の活用やEV充電器の増設などにより、平成30年度比で温室効果ガスの排出量が4.6%削減したことを評価いただきました。



#### 「第3回こおりやまSDGsアワード」を受賞

2022年2月、ショッピングモールフェスタ(福島県)を運営する当社の連結子会社である株式会社日和田ショッピングモールは「第3回こおりやまSDGsアワード(一般部門)」を受賞しました。こおりやま広域圏を構成する16市町村が「SDGs体感未来都市」の実現に向けて特に優れた取り組みをおこなう住民、団体、事業者などを表彰するもので、同社は商業施設のメリットを活かした地域社会とのコラボレーションによるSDGs普及・実践活動として、「SDGs WEEK」の開催や専門店と連携した食育・食品ロス削減などの取り組みが評価されました。

